

日々
少しずつ
レベルUP！



学ぶ楽しさを、
毎日の一歩から





八坂中学校

本校の実態

ほとんどの生徒が、毎時間の授業に落ち着いて臨み、理解しようと前向きに取り組んでいます。
基礎的・基本的な問題のついては、授業内で理解できていることも多くあります。
一方で、家庭学習が習慣化していない生徒が多く、なかなか定着しない生徒が多くいます。
話をきちんと聞く力、理解する力、考える力に大きな個人差があります。
既習事項を元に、自分の考えを文章にしたり、人に伝えたり、表現したりすることが苦手な生徒が多いと感じます。

国語

実態

日々の授業に意欲的に取り組もうとする姿が見られます。一方、自分の考えを文章で表現したり、言葉にして発表したりすることが得意でない生徒が多いです。また、漢字を覚えることが苦手で、作文では多くの誤字が見られます。

手だて

・単元ごとに自分の意見を短めの文章で書いたり、発表したりする時間を設け、表現する力を段階的に培っていきます。また、挙げられた意見を生徒同士で相互評価しながら、自分の意見を確立させることで自信をもたせていきます。
・毎回の授業の中で漢字を練習する時間をつくり、語彙を定着させていきます。

社会

実態

社会に対する興味・関心が高く、授業内容を真剣に聞き、学習課題に取り組む生徒が多いです。また、お互いに分からない箇所を教え合う姿も見られます。一方、基本的な語句が定着していないこと、資料から読み取ったことを上手く文章化することが苦手な生徒が多いです。

手だて

・学習内容と関連した身近な教材(動画・資料等)を用いて、興味・関心をより一層高めつつ、対話的な活動を多く取り入れていきます。
・まとまった単元の終わりに、練習問題を解いたり、小テストやレポートの作成等を実施したりする中で、基本的な語句の定着と活用を図ります。

数学

実態

計算などの基本的な内容については、前向きに取り組んでおり、授業内で理解できている生徒が多くいます。一方で、学習した内容を継続して定着させることに課題があります。また、複雑な問題になると、どの知識や技能を使えばよいか判断することが苦手な生徒が多いです。

手だて

少人数授業という利点を活かし、苦手な生徒には、意図的に声をかけながら個に応じた指導を行います。また、なぜそのようにして解くのか、ということを常に考えさせ、途中の計算を大切にさせながら指導に当たります。さらに、「この問題では何が分かっていて何を求めるのか。そのために、これまで学習した何が使えそうか。」という、問題解決の過程を意識させる指導を行います。

理科

実態

実験や話し合い活動に意欲的に取り組む生徒が多いです。真剣に説明を聞き、一生懸命に取り組んではいますが、「学習した内容が日常生活にどうつながっているか」「どのような条件で実験をしたら知りたいことが分かるか」など、先を見通して考えることや事象を文章で表現することが苦手な生徒が多いです。

手だて

対話的な活動から他の人の意見を取り入れながら、理解を深めることにつなげていきます。身近な例を積極的に授業に取り入れながら、日常生活とのつながりを意識した授業計画を行い、文章で事象を表現する力については、スモールステップを踏みながら考察による演習を丁寧に積み重ねていきます。

音楽

実態

歌唱活動に意欲的に取り組み、明るく元気に歌う生徒が多いです。また、音楽に親しみながら、楽しんで授業に取り組む姿が見られます。一方、鑑賞では、音楽を聴いて感じたことや気付いたことを、自分の言葉で表現することが苦手な生徒が多いです。

手だて

鑑賞では、リズムや強弱、楽器の音色などに注目して、音楽の特徴を感じながら聴く活動を取り入れます。また、感じたことや気付いたことを友達と伝え合う時間を設け、いろいろな感じ方に触れながら、自分の考えを深めていきます。さらに、感じたことを自分の言葉で表す力を身につけられるようにしていきます。

美術

実態

各学年とも学習意欲はあり真剣に作品に取り組む生徒が多いです。また、発想も柔軟で課題の意図をくみとりながら活動しています。一方で、教科としての美術と実生活の中で体感できる美術とをうまく結びつけられていない、または感じられていないようではあります。

手だて

教科書・副教材の中にある知識が現代の日本人の生活、文化（サブカル）などにデザインなどを通してどうかかわっているのかを伝えるように取り組んでいます。また、美術科とアート系職種のつながりが感じ取れる課題を設定するようにしています。

保健体育

実態

体を動かすことが好きで意欲的に取り組む姿勢が見られます。また、お互いの学びを助け合い教え合おうとする姿勢も見られます。学習した知識や技能を活用しながら仲間と探究しながら練習したりチームとしての動きについて改善すべきポイントを探したりすることができると良いです。

手だて

グループの人数などを工夫したり練習の進め方を例示したりしながら、練習や試合に目的をもって取り組めるようにしていきます。また、タブレット端末を使用して、体の動かし方や運動の行い方の実践例を分かりやすく示していきます。

技術・家庭

実態

・技術科では、授業に意欲的に取り組む姿勢が見られます。しかし、経験不足や理解力の違いにより、作業の進め方や作品作りに苦手意識がある場合があります。
・家庭科では、授業が好きで前向きに取り組む姿があります。ただ技術面の差があり苦手な生徒には時間をかけたり、工夫し創造する力を高める必要があります。

手だて

・技術科では、個別指導を細やかに行い、授業時間だけでは足りない生徒には、放課後や長期休業中を使って対応します。失敗してもフォローが出来る体制を整えます。
・家庭科では実践的な学習活動を多くし、製作等が苦手な生徒にはグループ学習等で互いに教え合う形態を取り、過去の作品を通して製作のヒントを見つけさせます。

英語

実態

新しく学習した語彙や文法を書いたり話したりして、積極的に活用しようとする意欲的な生徒が多いです。一方で、これまでに学習した既習事項の整理や定着が不十分な様子も見られるほか、即興的に自分の考えや思いを表現するために必要な力がまだ十分に身についていない生徒が多く見られます。

手だて

教科書指導において新出の事項だけでなく、既習の語彙・文法を計画的に復習する機会を設け、知識の確実な定着と整理を図ります。また、既習事項を活用して自分の考えや思いを積極的に伝え合うペアワークやパフォーマンステストに向けた取り組み等の言語活動を継続的に取り入れ、場面や状況に応じて柔軟に表現できる力を育成します。